



# 区立小中学校の給食費の無償化を求める請願は、またも継続に

～自民、シブヤ笑顔、公明、維新が多数で～

第2回定例会に、学校給食無償化プロジェクト@渋谷のみなさんから提出され継続審議となっていた「区立小中学校の給食費の無償化を求める請願」について、10月17日の文教委員会で協議されました。

自民は、区立小中学校だけでなく、私立や都立なども含めて広く無償化すべきでありさらに研究が必要、シブヤ笑顔は、ワンダフル給食の質を落とさずに無償化できるか研究が必要、不登校児の給食費の無償化も考える必要があるなどと主張、維新の会も含めて今回も「継続審議」を求めました。

日本共産党と立憲・国民は、区長も来年度からの無償化を表明しており、区民から区議会として意思を示して欲しいとの願いが込められた請願をこれ以上継続することは許されない、請願に賛成なら採択すべきと主張しましたが、多数で継続とされました。

「健康保険証の存続を求める意見書を国に提出することを求める請願」についての説明  
本請願は、健康保険証の存続を求める意見書を国に提出することを求めています。請願趣旨として、政府がマイナンバーカードと保険証の一体化を進めるために、来年度に健康保険証を廃止する法律を制定したことに對して、8月時点で、マイナ保険証への紐づけの誤登録が8000件以上、未だに紐づけが完了していないものが77万件もあり、他にもオンライン資格確認ができない、負担割合の間違いなど、いのちと健康、保険診療に重

大な影響を及ぼす深刻なトラブルが続出していると指摘しています。  
また、医療機関もオンライン資格確認が義務化されたにもかかわらず、対応できなければ廃業を迫られるとしています。また、2割の医療機関が閉院・廃業を考えざるを得ないと答えており、地域医療の体制が後退することを危惧しています。  
そのうえで、トラブルの全容解明と再発防止対策が不十分であり、マイナ保険証への紐づけも不確実なため、公的保険から外れる人を一人も出さないために、現行の健康保険証の存続を求めています。  
実際、世論調査では7割以上の人が、健康保険証の廃止に反対しており、本請願でも示されている健康保険証の存続を求める区民の声を、渋谷区議会としても採択して、意見書として国に提出すべきです。  
ぜひ、この趣旨にご賛同いただき、採択していただきますようお願いいたします。

区議会の切実な願いが込められた請願が、10月17日に各所管委員会で表決・本決定されました。  
区民環境委員会では、緑道の樹木の保存のために提出された「玉川上水旧水路緑道の樹木管理に関する請願」は、全会派一致で採択されました。また、渋谷社会保障推進協議会と東京保険医協会から提出された「健康保険証の存続を求める意見書」を国に提出することを求める請願は、それぞれ日本共産党区議団、立憲・国民と日本維新の会、無所属の矢野議員の賛成4人、自民、公明、シブヤ笑顔と無所属の須田議員の反対4人で可否同数となり、委員長が賛成して委員会では採択されました。  
各請願とも20日の本会議で表決され、区議会としての可否が決定します。

また、文教委員会では、「区立小中学校の給食費の無償化を求める請願」は、第2回定例会に続いてまたも多数で継続となりました。  
今号では、「健康保険証の存続を求める意見書の提出を求める請願」について、私が委員会で紹介議員として行った説明(要旨)をご紹介します。

区議会第3回定例会・常任委員会で、区民の請願が表決される

「保険証の存続」、「緑道の樹木管理」などの請願が委員会で採択

## 各委員会での請願の表決結果(第3回定例会)

2023年10月17日

請願名	可否	共産党	自民党	立憲国民	シブヤを笑顔	公明党	日本維新の会	無所属①	無所属②
区立小中学校の給食費の無償化を求める請願 (請願者:学校給食無償化プロジェクト@渋谷 第2回定例会で継続)	継続	採択を主張	継続を主張	採択を主張	継続を主張				
健康保険証の存続を求める意見書の提出に関する請願 (請願者:東京保険医協会)	可否同数採択	○	×	○	×	×	○	×	○
健康保険証の存続を求める意見書を国に提出することを求める請願 (請願者:渋谷社会保障推進協議会)	可否同数採択	○	×	○	×	×	○	×	○
玉川上水旧水路緑道の樹木管理に関する請願 (請願者:玉川上水緑道利用者の会)	採択	全会派一致							

